

化学療法レジメンセット 登録用紙

コード : P6
 レジメン名称 : OVD+5-FU/LV(外来)

新規
 変更

提出日 : 2020 年 7 月 1 日
 承認日 : 年 月 日

適応がん種 : 膵臓癌

消化器内科 : 消化器センター部長 喜多 宏人

インターバル日数 : 14日

消化器外科 : 病棟診療部長 元吉 誠

予定コース数 : PDまで

確認薬剤師 : 薬務主任 植木 大介

Rp.No.	癌	薬剤名	投与量	手技	投与経路	点滴時間・速度	day(1)
1		デキサート注(デキサメタゾンとして) アロカリスバイアル235mg グラニセトンバッグ3mg	6.6mg 1V 1本	点滴静注	CVポート(メイン)	30分	Rp1 30分 DEX注6.6mg +アロカリスバイアル +グラニセトンバッグ ↓ Rp2 90分 オニバイド注 5%ブドウ糖液500mL ↓ Rp3 5分 生理食塩液50mL ↓ Rp4 2時間 レボホリナート点滴静注液 5%ブドウ糖液250mL ↓ Rp5 46時間 フルオロウラシル注 生理食塩液 100mL
2	*	オニバイド点滴静注液 5%ブドウ糖液 500mL	70mg/m ² 1本	点滴静注	CVポート(メイン)	90分	
3		生理食塩液50mL	1本	点滴静注	CVポート(メイン)	5分	
4	*	レボホリナート点滴静注液 5%ブドウ糖液 250mL	200mg/m ² 1本	点滴静注	CVポート(メイン)	2時間	
5	*	フルオロウラシル注 生理食塩液 100mL	2400mg/m ² 1本	点滴静注 ※総量105mL	CVポート(メイン)	46時間	
				注入器具: Baxterインフューザー			

上記表にて設定する抗がん剤について

Rp.No.	薬剤名	設定値	上限値
2	オニバイド点滴静注液	70mg/m ²	
4	レボホリナート点滴静注液	200mg/m ²	
5	フルオロウラシル注	2400mg/m ²	

<特記事項> 最終更新:2022/9 アロカリス導入
 ①FOLFIRIと似たレジメンであるが、オニバイドとレボホリナートの並列投与は不可のため注意
 ②原則は投与前にイリノテカンの代謝酵素であるUDP-グルクロン酸転移酵素の2つの遺伝子多型(UGT1A1*6, UGT1A1*28)を確認し、遺伝子変異を有する患者では50mg/m²を開始用量とする。なお、忍容性が認められる場合には、70mg/m²に増量することが出来る。